

# 平成26年度 学校教育目標

京都市立向島東中学校

## [1] 本校教育目標

創造的で、個性豊かな人間性の育成をめざして、生徒の学力の向上を図るとともに、たくましく思いやりのある生徒を育成する。

めざす生徒像

- ◎自立する生徒 ◎人権を大切にする生徒 ◎健康で感性豊かな生徒

## [2] 学校経営方針

一人一人の生徒を徹底的に大切にする教育活動を推進する中で、生徒・保護者・地域・教職員が、共に汗を流し、共に学び、信頼関係で結ばれた安心・安全な学校づくりを行う。

### 1. 行動する学校

- ◎ 教育目標具現化のため、「組織の力」と「個人の力」で粘り強く取り組み、共通理解ときめ細かい丁寧な指導を実践する。
- ◎ 教職員の専門職としての力量（子どもへの愛情や慈しむ心、指導力・発想力・想像力）を高めるために自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、思いやり温かみのある教職員集団を組織する。

### 2. 地域との連携

学校・家庭・地域との連携のもと、それぞれが固有の教育的機能を發揮し、共に高め合う信頼感で結ばれた学校づくりを推進する。

### 3. 教育環境の整備

教職員と生徒の手により、うるおいのある教育環境を創り出す。

## [3] 本年度の重点目標

自ら進路を切り拓き、社会的自立の基盤となる「生きる力」を培う人権教育の創造

本校での生きる力の育成→

教育を受け、豊かな心を醸成し、企業から雇われる力(employability)を育成する。

1. キャリア発達支援の要となる進路保障  
一人一人の進路展望が広がり、進路希望を達成するため、基礎・基本的の確実な定着による学力の伸長を図る取組を実践する。
2. 的確な実態把握による心の教育の充実  
家庭訪問や小中一貫を見据えた小中連携を充実することにより、生徒の実態を的確に捉えた心の教育の充実を図る。
3. 人権教育  
人権尊重を基盤とした、心の通った教育活動の実践と、協働的な活動を通して、人権という普遍的文化の担い手となる子どもを育成する。
4. 保護者・地域の信頼  
生徒・保護者・地域の心情を理解し、真の願いと向き合い、積極的に教育活動を発信する取り組みを実践する。